

「自律」 黒木中だより 第17号

令和6年3月1日



八女市立黒木中学校
八女市黒木町北木屋60
☎ 0943-42-0109
編集責任者 山口 繁喜

『冬眠より さめし蛙 (かわづ) が 残雪の うへにのぼりて 体を平 (ひら) ぶ』

齋藤茂吉

意味:冬眠から目覚めたばかりの蛙が、春になってもまだ雪が残っている平原の上で、体を平たくし日向 (ひなた) ぼっこをしている。

冬眠していた動物たちが目覚める季節となりました。ところで、冬眠とはどんなふう
に寝ているのでしょうか。日本では、陸生哺乳類 97 種中 32 種 33%の哺乳動物が冬眠
します。冬眠期間中は、呼吸数・心拍数・体温を下げ、代謝を下げて必要エネルギーを
最小限にしています。寝続けているのはクマだけで、他の哺乳動物は、中途覚醒し、その
間に、排泄や摂食を行っているそうです。

春眠が得意で、いつも睡魔に連戦連敗。後悔しつつも、気持ちよく二度寝しているの
は私だけでしょか・・・？

いじめ〇集会『黒木中いじめ〇に向けて』

2月16日にいじめ撲滅に向けて「黒木中 157 の『いいね』👍」と題して生徒会主催で集会を開きました。まず、
生徒会長から、この集会の目的「誰もが安心して
通える学校、個性を認め合う学校づくりに努めることで、
いじめ撲滅につながる」と説明し、今回の目標の



知ろうとしよう、相手のよさを。出会った奇跡を大切に
～十人十色 お互いの良さを認め合おう～

を伝えました。次に、生徒会の指示のもと、各学級に戻り、
「友だちの長所探し」を班に分かれ行いました。「自分のよ
さや友だちのよさを考えることが、互いのよさを認め合
い、安心して通えるクラス、学校づくりにつながる。」とい
う思いで企画した素晴らしい取組でした。



後期定期考査終了

2月14日～16日の3日間での実施。本年度最後の定期考査。手応えはどうだったで
しょうか。以前にも書いたようにテストは、自分の課題を発見し、それを修正して次の
学びにつないでいくことが大切です。具体的には、学習課題に向かうとき、見通しを持

って取り組み、対話を通して学びを深め、納得して自分の言葉で表現していたか。その学びを家庭学習につなげていたか。どの内容や分野が不十分であったかなどの課題を確認することです。今後も、日頃の授業の一時間一時間を大切にしていきたいと思います。

いのちの授業

2月20日に助産師の 氏を講師として招き、3年生を対象に「いのちの大切さを考える」と題して行いました。一つの命が誕生することは奇跡であり、母親をはじめ多くの人に生まれて成長していくこと。また、性感染症についての知識について学びました。「自分と周りの人たちとの出会いもこの奇跡の上に成り立っている奇跡」と考えを膨らませていました。



小中交流授業

2月26日に黒木小学校・黒木西小学校の3年生と中学1年生とで小中交流授業を行いました。総合的な学習の時間の「身の回りの仕事」についての学習でした。「カルタ大会をしてたくさんの仕事を知らう」とめあてを設定して、中学生が準備したカルタを楽しみながら仕事の種類やその内容を学んでいました。小中の絆が深まった瞬間でした。

親子クッキング

2月28日に学習室で保護者を招待して調理実習を行いました。自分たちで実施計画をたて、「親子クッキング」と称してカップケーキづくりに挑戦しました。小麦粉をふるったり、バターや砂糖と混ぜ合わせたりと丁寧に作業を進めました。そして、甘い芳醇な香りを漂わせた見事なカップケーキが焼き上がりました。試食の時は最高の笑顔でした。



☆ 保護者の皆さまへ ☆

中庭の白梅(表題写真)はいつもより早く咲き卒業式を待たずに散ってしまいました。そして、菜の花も咲き誇り一気に春が到来したようです。三年生は残り1週間。公立高校一般入試、愛校作業が終われば卒業式となります。4年ぶりに在校生も参列します。卒業生の門出をみんなで祝いたいと思っています。三年生の保護者の皆さまにとって、子どもたちの中学校生活は、「光陰(こういん)矢のごとし」だったのではないのでしょうか。卒業式当日はたくましく成長されたお子様の姿をしっかりと目に焼き付けてください。三年間、本校に対しご協力とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。今後もこれまでと変わらないご厚情をよろしく願います。